

## 大会開催にあたって

今年度の研究大会は、岡山大学に会場をお借りして開催します。二日間の開催期間に22名の研究者が個人研究発表を行います。一日目の午後のシンポジウムは、「文学を通じての哲学——現象学の可能性を探る」と題して、それぞれドイツ、フランス、英語圏の哲学に通じている入谷秀一、川崎唯史、高田敦史という3名の研究者による提題がなされます。シンポジウムに先立って、海外留学をテーマにした男女共同参画・若手研究者支援ワークショップが開催されます。二日目の午後には、特別講演として、北欧現象学会から Guðbjörg Rannveig Jóhannescdóttir 氏と Gústav Bergmann 氏にお話し頂きます。いずれも大変充実したプログラムとなっています。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。ご関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願いいたします。

企画実行委員長

## プログラム

11月23日(土)

09:25-11:00 **個人研究発表** (発表 30分・質疑応答 15分)

(文学部・法学部・経済学部 講義棟)

**第1会場 (13講義室) 司会：中委員**

9:25 松田智裕 (立命館大学)

時間の弁証法

フッサール『時間講義』をめぐるピカルとデリダ

10:15 佐野泰之 (京都大学)

メルロ=ポンティと「生き方としての現象学」

**第2会場 (15講義室) 司会：三村委員**

9:25 田中俊 (京都大学)

根元意見の中立化について

10:15 柳川耕平 (立命館大学)

フッサール中期時間論における自我の二重的性格

**第3会場 (17講義室) 司会：井上委員**

09:25 藤貫裕 (京都大学)

九鬼周造の時間論における現象学的時間論の理解とその形而上学的展開

10:15 山下智弘 (慶應義塾大学)

死の論理形式

11:00-12:20 昼休み・第1回委員会 (文学部会議室)

12:20-13:50 **【男女共同・若手研究者支援ワークショップ】**  
(20番講義室)

「現象学研究者の留学は今後どうなる？」

オーガナイザー：池田喬 (明治大学)

話題提供：赤阪辰太郎 (立命館大学)

石原悠子 (立命館大学)

特定質問：酒井麻依子 (立命館大学)

14:00-17:00 **【シンポジウム】 (20番講義室)**

「文学を通じての哲学——現象学の可能性を探る」

提題者：入谷秀一 (龍谷大学)

川崎唯史 (熊本大学)

高田敦史 (無所属)

司会：加國尚志 (立命館大学)

17:10-18:30 **懇親会**

会場：文学部会議室

会費：500円

11月24日(日)

09:15-12:30 **個人研究発表** (発表 30分・質疑応答 15分)

(文学部・法学部・経済学部 講義棟)

**第1会場 (13講義室) 司会：永井・村上委員**

09:15 石田寛子 (上智大学)

J-L.マリオンにおけるアウグスティヌスの〈意志〉の現象学的解釈

〈啓示の現象〉の可能性の基礎づけへ向けて

10:05 小野和 (明治大学)

レヴィナス『全体性と無限』における客観的意味の成立と「倫理」、「正義」、「責任」

10:55 小林信之 (早稲田大学)

美的なものの概念をめぐる

11:45 石井雅巳 (慶應義塾大学)

レヴィナスにおける倫理の時間性について  
自我と他者の先行性とその解釈

**第2会場 (15講義室) 司会：田口・和田委員**

09:15 山倉裕介 (洛和会京都厚生学校)

ミラー=ニューロンは何を映すのか  
メルロ=ポンティにおける他者知覚

10:05 三笠雅也 (京都大学)

「慢性的な空虚感」とはなにか？

BPDにおける現象学的考察から

10:55 田村正資 (東京大学)

グールヴィッチにおける対象の同一性

11:45 小松伸二 (立正大学)

知覚の概念主義における身体の果たす機能について

**第3会場 (17講義室) 司会：榊原・谷委員**

09:15 小島雅史 (一橋大学)

フッサールにおける伝統概念について

10:05 綿引周 (東北大学)

純粹現象学と存在論

10:55 峰尾公也 (早稲田大学)

ハイデガー『存在と時間』における「時間性への世界時間の帰属」について

11:45 丸山文隆 (東京大学)

The Unimportance of Personal Identity for Heidegger

**第4会場 (14講義室) 司会：陶久・安部委員**

09:15 西村知紘 (大阪大学)

『存在と時間』の学問性について

10:05 高井寛 (東京大学)

ハイデガーの〈ひと〉論

10:55 大江倫子 (首都大学東京)

ハイデガーと形而上学の問題

認識論から共生の思考へ

11:45 神谷健 (関東学院大学)

『存在と時間』第七節「探求の現象学的な方法」の議論構造とその基礎概念の検討

12:30-13:45 昼休み・第2回委員会 (場所：文学部会議室)

13:45-14:15 **総会 (場所：20番講義室)**

14:25-15:20 【特別講演1】(20番講義室)

"The openness of beauty: Aesthetic perception and embodied thinking"

Guðbjörg Rannveig Jóhannesdóttir 氏

(University of Iceland / the Iceland University of the Arts.)

15:30-16:30 【特別講演2】(20番講義室)

"Stock of knowledge or sense of the world?"

: Merleau-Ponty on language and world constitution"

Gústav Bergmann 氏 (University of Iceland)

【会員休憩室】11番講義室

お知らせとお願い

1 2018年度決算報告(2018.4.1~2019.3.31)

【歳入】

【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥306,5916	『年報』出版費	¥842,400
納入学会費	¥914,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥38,600	『年報』送料	¥67,862
普通預金利息	¥5	通信費	¥38,006
計①	¥4,018,521	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥2,218,102	事務局経費	¥38,811
		研究大会開催費	¥150,000
		研究大会講師謝礼	¥10,000
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥573,340
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥60,000
		特別経費	¥0
		大会奨励賞	¥20,000
計②	¥1,283,116		

2 会費納入 学会費(年間3,000円)を同封の振込用紙で

てご納入下さい。大会会場でも受け付けます。

3 出欠の連絡

研究大会および懇親会への参加の有無を、ホームページ上の  
登録フォームからご連絡ください。11月10日までにご連絡い  
ただけると幸いです。



交通アクセス

JR:

津山線「法界院」駅:  
徒歩約10分

JR→バス:

①岡山駅運動公園口  
(西口)バスターミナ  
ル22番乗り場から  
【47】系統「岡山理科  
大学」行きに乗車、「岡

大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車

※所要時間約7~10分

②岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】

【67】系統「妙善寺」行きに乗車、「岡大東門」、「岡大西門」または  
「福居入口」で下車※所要時間約30分

第41回

# 研究大会

日時: 2019年11月23日(土)・24日(日)  
会場: 岡山大学(津島キャンパス)

入場料: 500円(会員・非会員の区別なし)

## 日本現象学会

事務局:

〒153-8902

東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科石原孝二研究室

Email: paj-office@pa-j.jp

郵便振替 00980-9-109153

HP: http://pa-j.jp/